

第 67 回日本新生児成育医学会学術集会

日本新生児成育医学会倫理委員会企画 第 32 回日本新生児看護学会学術集会共催

多職種ワークショップ

開催日時：2023 年 11 月 3 日（金曜日・祝日）13:30～16:30

場所：パシフィコ横浜会議センター

多職種ワークショップ ―事例を通して、児にとっての「最善」について一緒に考えましょう―

【はじめに】

日本新生児成育医学会倫理委員会では、第 60 回本学術集会から、「患者家族と医療スタッフが児の最善をめざして話し合うにはどうしたらよいか？」というテーマのもとに、患者家族を含めた多職種でワークショップを行ってきました。コロナ禍のため 2021 年は倫理コンサルテーションについて学ぶシンポジウム、2022 年はパネルディスカッション形式でのワークショップと変則的にはなりましたが、継続して話し合いを続けております。

2023 年は第 32 回日本新生児看護学会学術集会との共催で模擬事例について話し合うグループワーク形式のワークショップを開催いたします。今回も多様性のある考え方に耳を傾けながら、意見交換をしたいと思っております。

【目的】

模擬事例について患者家族・多職種医療者を含めた話し合いを体験する。

診療での意思決定などについて、患者家族の思いを聴く。

参加型グループワークによって、立場によりさまざまな意見があることを経験し、何が児の最善の利益に繋がっていくかを考える。

【模擬事例】

在胎 40 週の重症新生児仮死児。胎盤早期剥離のため緊急帝王切開で出生した。生後速やかに低体温療法を実施した。しかし治療終了後も自発呼吸も刺激に対する反応も無く、頭部 MRI 所見と合わせて重症の低酸素虚血性脳症と診断した。人工呼吸管理下での全身状態は概ね安定した。気管切開および喉頭分離を行うことについて家族に説明・提案したところ、家族は困惑した様子である。

【当日の流れ】

- (1) ワークショップの目的や流れ、方法などの解説、模擬事例呈示
- (2) 倫理的な課題についての話し合いについて悩んでいることや、患者家族を含めた参加者が十分に思いを共有するための準備や話し合いの設定についての意見交換
- (3) グループ（医師・看護師・心理士・患者家族などで構成）で模擬事例についてのグループワーク
- (4) グループプロダクトを発表し、全体討論。

※グループプロダクトは、委員会報告として学会誌に掲載いたします。（学会員以外の参加者には掲載後に送付します。）

【WS 申し込み方法】

下記の google フォームからお申し込み下さい。担当者でお申し込みを確認後 1 週間程度で一度ご連絡差し上げます。

募集期間：2023 年 8 月 16 日～9 月 30 日

応募状況に因っては募集期間が変更される可能性がありますのでご了承ください。

募集枠を上回る人数の応募があった場合は、先着順での採用とさせて頂き、参加確定以外の方は「キャンセル待ち」とさせて頂きます。

募集人数：各職種 10 名前後

参加申し込み用 google フォーム（下記の URL または QR コードからアクセスしてください）

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdhKsuTz0Lzbqly0f723FlNtmt3p4JZezV9wSo-nwl3Zfm40A/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>



【WS 参加資格】

患者家族以外の方は、第 67 回日本新生児成育医学会学術集会 (<http://jsnhd67.umin.jp>) または第 32 回日本新生児看護学会学術集会 (<http://jann32.umin.jp>) への参加登録が必須です。学生、臨床研修医の方の参加費については、それぞれの学術集会ホームページをご確認ください。※ご注意ください。学術集会参加費は、一度入金すると返金はありません。本 WS のためだけに学術集会に参加されるご予定の方で、学術集会参加には事前登録を検討される方は、WS 参加が確定してから、学術集会参加費を入金されることをお勧めいたします。

【問い合わせ先】

下記の google フォームからご連絡ください。御返事には 2～3 営業日かかる可能性があります。悪しからずご了承ください。

問い合わせ用 google フォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeLCUcUDY6n1FGtOuWiej-MCQ1acNhhPz6yV4OdmaVnxVkfG/viewform?vc=0&c=0&w=1&flr=0>